



「いつだって、そこに本はある」 図書館長 杉本幸雄

私が学生時代の話であるから、今から40年以上も前のことになる。岐阜の田舎町から東京の大学に進んだ私は、まだ友達も少なく一人で過ごすことが多かった。通っていた大学は東京の神田にあり、界隈には多くの古本屋があった。お金はない、時間はある。そんな毎日が続く。どうやってお金を使わずに、時間を潰すのか。

古本屋の軒先にはかなり読み込まれたであろう文庫本が何十円という値段で積まれている。文学青年を気取るつもりはなかったが、私は聞いたことがあるような作家の名前を探して安い文庫本を買って時間を潰すつもりだった。高校時代は全くと言っていいほど本は読んでいない。そんな不純な動機から、本を手にするようになったのは大学に入ってからのことであった。時間潰しの読書は、少しずつ私の日々の暮らしに溶け込んでいった。通学の電車の中、講義の間の空き時間、気が付けば時間潰しというよりは、時間があれば本を開くようになっていた。

どうして本に惹かれていったのか。本を紐解けば、そこには自分の知らない世界が広がっていた。知らない人生、知らない世界、綴られている文章を読み進めるうちに想像力はたくましくなり、やがてそれは私の行動力へとつながっていった。

本が全てを教えるわけではない、本はヒントを教えるだけ。そのヒントに自分が気が付くかどうか、そして動けるかどうかだと思う。

大学を出てから、私はマスコミの世界へ足を踏み入れることになる。映像制作の世界で仕事をするようになった。CM、テレビ、映画、ドキュメンタリーと何かを人に伝える仕事をしてきた。今もドキュメンタリー映画は作っている。

映像はたくさんの情報を伝えることができる、そして文字で書かれた原稿も語り手の言葉となってたくさんの思いを伝えることができる。

あるテレビドキュメンタリーを作っていた頃の話である。ナレー

ションの録音を翌日に控えていた私は、ぎりぎりまでナレーション原稿の手直しに追われていた。そのナレーション原稿はある有名な俳優さんに読んでもらうことになっていた。私は失礼のないように細かい言葉遣いまでチェックをしていた。

録音当日、私は書き上げたナレーション原稿を持って、俳優さんに渡した。原稿はともかく、私は大切なことを忘れていた。原稿を横書きのまま、渡していたのである。俳優さんは私に一言、「君、横書きの原稿は読めないよ」私は重大なミスを犯していた。

その後、縦書きに直した原稿を渡して、録音は無事終わることが出来た。その俳優さんは、私に教えてくれた。

「縦書きの原稿には、行間というものがある。読み手はその行間を大切にしながら、間をどうするかを考えながら読むんだ、横書きではそれが出来ない。本は縦書きだろう、それが日本の言葉なんだ。君、もっと本を読みなさい。」

情報が氾濫している世の中で、何が自分にとって大切な情報なのか。果たしてその情報とやらは、自分にとって本当に大切なのか、必要なのか。これからますます氾濫していくであろう情報の渦、その渦に呑み込まれないように自分の足をしっかりと固めなければならない時代が来るであろう。いや、その時代は既に来ていると思う。

巷に溢れる情報の渦、そこに蔓延る情報には多くの嘘も含まれている。嘘か本当か、見破るには自分の知恵しか頼るものはない。スマホを置いて、今こそ本を手にするべきだと思う。そこには知恵が綴られている。

いつだってそこに本はある。



2019年度もイベント開催しました!

選書ツアー

毎回大好評の企画!!選書ツアー(書店に行って図書館の蔵書となる本を選ぶ企画)を6月15日(土)三省堂書店名古屋本店、11月16日(土)丸善名古屋本店の2回開催しました。

前年度のアンケートで土曜日の開催希望が多数あったため、2019年度は初めて土曜日に開催しました。その効果もあってか、第1回選書ツアーの参加者数は昨年度に比べて8名増加しました。(第1回学生12名、引率者4名)今後も学生が参加しやすいように開催日時など調整していきます。

選ばれた図書は、参加者手製の紹介カード(POP)と一緒に図書館1階「選書ツアー図書コーナー」に配架されていますので、手に取って見て下さい。

また2020年度の実施については、概要が決定次第図書館ホームページ等で案内予定です。興味のある方はぜひご参加下さい。4月より2階図書閲覧室前で今までの選書ツアー参加者作成のPOPの展示をしていますのでこちらも是非見て下さい。



学生と図書館長との懇親会

2019年12月5日(木)に「学生と図書館長との懇親会」を開催しました。学生と図書館長が図書館について自由に語る会で年1回開催しています。

情報デザイン学科教授の杉本館長はドキュメンタリー映画を手掛ける観点から、映画についての熱い思いや、本との向き合い方などを語って下さいました。参加した学生たちと、好きな映画監督や作品、最近読んだ本などの話題で盛り上がりました。図書館の利用や新着図書の案内についての質問があり、新着図書リストが図書館ホームページから見るができることを話しました。

館長や参加した図書館スタッフから、学生に向けて、大学生活をもっと楽しんでもらいたいとのエールが送られ、会は和やかに終了しました。

〈出席者〉

桑隆千穂さん(M16)、岩田敬睦さん(D17)、大橋亮介さん(S17)、
林夕紀子さん(A17)、上谷遼さん(T18)

〈図書館長、図書館室長、スタッフ4名〉



第3回ビブリオバトル

2018年度に続いて3回目となるビブリオバトルを開催しました。3名の発表者それぞれが選んだ本を各自の言葉と表現力により5分間で紹介し、プレゼンテーション能力を存分に発揮した「知的書評合戦」となりました。発表後、ディスカッションを行い、参加者が読んでみたいと思った図書に挙手をしました。一番多くの票を集めた図書が「チャンプ本」です。

チャンプ本

『少年A]この子を生んで…:父と母悔恨の手記』
(工学部機械工学科4年宮嶋萌音さん発表)

その他の発表本&発表者

『コルディッツ大脱走:ナチを出し抜いた創意と冒険の記録』
(工学部総合機械工学科3年大橋亮介さん発表)

『睡眠の科学:なぜ眠るのかなぜ目覚めるのか』
(情報学部情報デザイン学科3年大杉伊織さん発表)

開催概要

日時 2019年7月12日(金)12:20~12:50

場所 グループAV室(図書館2階)

参加者 学生5名、職員5名

次回の開催

発表希望者が3名以上集まった時点で、随時開催する予定です。ぜひ好きな本を手に図書館までお越し下さい。発表者には図書館オリジナルグッズをプレゼントします!



図書館で人気のスポットを紹介!

学内で学生人気ナンバーワンの場所である図書館ですが(「大同大学学生満足度調査 2018年度」より)、その図書館の中でも特に人気のスポットをご紹介します。あなたはどこがお気に入りですか?

1F

○AV ラウンジ(①)

DVD やブルーレイなどの視聴覚資料が約 5,000 点あり、特に映画のソフトは最新のヒット作が多数あります。個人でもグループでも、いつでも鑑賞できます。



○サテライトパソコン(②)

情報センター演習室のパソコンと同じように使えますが、館内で資料を調べながらレポート作成ができるので便利!!もちろんプリンタもあります。

○ブラウジングコーナー(③)

10タイトル以上の新聞(英字新聞・スポーツ新聞もあり)と、約50種の雑誌(音楽やファッションなど、軽めの雑誌)がゆっくり読めるコーナーです。学内掲示板、チラシも設置しています。



2F

○学習閲覧室(④)

会話をしながら学習ができるスペースです。机や椅子、ホワイトボードの配置は自由に変えられます。

話題の本やベストセラーが充実している「カレントブックスコーナー」もあります。



○グループ閲覧室(⑤)

最大8人で利用できるコンパクトな部屋が2つあり、学習閲覧室と同じくホワイトボードを設置しています。少人数でのグループ学習や打ち合わせに最適です。予約は1ヶ月前からできます。



3F

○就職・資格コーナー(⑥)

各学科の資格試験の問題集や参考書、就職活動に役立つ本を集めたコーナー。最新の本がそろっていて、貸出もたくさんされています。一部の本は、電子ブック版でも購入しています。



○3F 図書閲覧室の閲覧席(⑦)

図書館には各階に閲覧席がありますが、その中でも特に人気なのが 3F 図書閲覧室の閲覧席です。ライト付デスクを多数設置し、個人で集中して作業をすることができます。他の階より採光を少なくしてあり、落ち着いた雰囲気です。



企画展示コーナー

図書館1階ゲートをはいった正面に「企画展示コーナー」があります。毎回季節や社会の動きに合わせたテーマで、図書館の蔵書のなかから選りすぐりの本を紹介しています。また、2階図書閲覧室前でも1階の展示テーマに沿った資料を紹介しています。是非立ち寄ってみてください。展示資料は貸出もできます。展示資料のリストはレターにしてお配りしています。自由にお取り下さい。

2020年4～6月のテーマは、「みんなが借りているのはこんな本!!」過去3年間で学生の貸出利用が多かった本をご紹介します。大同大生はどんな本を読んでいるのでしょうか。2階では、図書館の恒例イベントのひとつである選書ツアーで、今までに学生が作成したPOPを展示します。



リサイクルコーナー

1階入口横の「リサイクルコーナー」には図書、雑誌が並んでいます。これらは図書館での役目を終了した資料です。手続きは不要ですので自由にお持ち帰り下さい。



電子ブックを使ってみよう

電子ブックは図書館ホームページの Maruzen eBook Library から利用ができます。各学科の学習に役立つ専門書や『地球の歩き方』などの一般図書を数多くそろえています。紙で印刷された本に比べて、①場所をとらない、②様々な端末でいつでも利用できる、③内容の検索が簡単、④返却期限が無い、といったメリットがあり、自分の端末に任意のページをダウンロードすることも可能です。

なおアカウントを作成することで、学外からも利用が可能です。(アカウントの作成には大学発行のメールアドレスが必要です。)

詳しくは、Maruzen eBook Library のトップページ右上「ご利用案内」の、「利用環境>どこから利用できますか?」をご覧ください。館内でお配りしている「Maruzen eBook Library ~リモートアクセスのご案内~」をご参照下さい。

●Maruzen eBook Library :



図書館での飲食について

図書館内では基本的に飲食を禁止しています。これは図書館資料が汚れるのを防ぐためです。

しかし近年の温暖化の影響で熱中症患者が急増しているため、1階ブラウジングコーナーのテーブル席に限り蓋付きの飲物(水筒、ペットボトル等)を飲むことができる場所としました。学習の合間に一息入れる際はこちらをご利用下さい。

図書館を賢く使おう

皆さんは「レファレンスサービス」についてご存知でしょうか?図書館の利用方法全般について相談できるサービスです。資料の探し方や施設の利用、その他図書館に無い資料の取り寄せ等についても、お伺いします。

気軽に図書館サービスカウンターまでお越しください。

〈よくあるご相談〉

- ・貸出できる英語の辞書はありますか?
- ・DVD を見たいのですが手続きはどのようにすれば良いですか?

お知らせ

- ・2018年度大同大学学生満足度調査プロジェクトによるアンケートにより、一人席の希望が多くあったため2階図書閲覧室の閲覧機の一部にパーテーションを設置して個人席にすることを計画中です。
- ・2ページで紹介した2019年度のイベントの詳細な内容を図書館ホームページに掲載しています。
- ・図書館の使い方や資料の探し方を案内した「ミニガイド」を作成しています。入口は左側に並んでいますのでご自由にお使いください。